

2014「夏のボランティア体験」 感想文集



今年も多くの体験者より「夏のボランティア体験」の感想文をお寄せいただきました。

(公財)えどがわボランティアセンター

社会の成熟化とともに、生きがいや自己実現を求めて、自らの知識・技術・趣味・特技などを地域社会の中で活かしたいとボランティア活動に関心を持つ方が増えています。

「夏のボランティア体験」は、夏休みを利用して、普段からボランティア活動に関心がありながら参加するきっかけがなかった区民や児童・生徒に対し、活動を体験する場を提供する機会として実施しています。

今年は、59の活動先で302名の方々がボランティアを体験されました。

そして参加された多くの皆さんから寄せられた感想文をいただきました。

ご一読いただければ幸いです。

また、ボランティア受入れのため、ご協力をいただきました各施設・ボランティアグループなど関係の皆様にも、心から感謝申し上げます。

平成26年9月

公益財団法人えどがわボランティアセンター

感想文集目次

お年寄りとふれあったりサポートする活動

「ウエル江戸川でのボランティア体験を終えて」	ウエル江戸川	- 1 -
「無題」	介護老人保健施設めぐみ ボランティアセンター	- 1 -
「楽しかったボランティア」	なぎさ和楽苑	- 2 -
「はじめはきんちょうしたボランティア体験」	江戸川さくらの杜	- 2 -
「なぎさ和楽苑で働いてみて」	なぎさ和楽苑	- 2 -
「初めてボランティア活動に参加して」	介護老人保健施設めぐみ	- 3 -
「ボランティア体験」	老人保健施設ヴィット	- 3 -

障がいのある方と交流したりサポートする活動

「新しい物の見方」と「人のつながり」	えがおの家 篠崎図書館	- 4 -
--------------------	----------------	-------

子ども達とふれあいながら健やかな成長を見守る活動

「保育園のボランティアを体験して」	西小松川保育園	- 5 -
「ボランティア」	新堀おひさま保育園	- 5 -
「初めての保育園でのボランティア」	清新おひさま保育園	- 6 -
「小学校と保育園の違い」	松江おひさま保育園 西一之江小学校すくすくスクール	- 6 -
「将来の夢により憧れを持つことができた ボランティア活動」	清新おひさま保育園 清新第一小学校すくすくスクール	- 7 -
「ボランティアの感想」	アスク西一之江保育園	- 7 -
「初めてのボランティア」	清新おひさま保育園	- 8 -
「『教える』ということ」	清新おひさま保育園	- 8 -
「4日間のボランティアを終えて」	一之江保育園 アスク西一之江保育園	- 9 -
「保育園ボランティアを通して」	逆井保育園	- 9 -
「この夏休みの経験」	小松川おひさま保育園	- 10 -
「保育園でのボランティア」	小松川おひさま保育園	- 10 -

「子ども達のパワーはすごい」	清新おひさま保育園	-11-
「小岩図書館の皆さまへ」	小岩図書館	-12-
「図書館での仕事」	篠崎図書館	-12-
「ボランティアをやってみて」	中央図書館	-13-
「図書館でボランティアをして」	中央図書館	-13-
「小松川図書館のボランティアにて」	小松川図書館	-14-
「ボランティアを終えて・・・」	篠崎図書館	-14-
「本を大切にすることは人へのおもいやり」	小岩図書館	-15-
「ボランティアを通じて感じたこと」	西葛西図書館	-15-
「夏のボランティア体験を終えて」	共育プラザ之江	-16-
「人と人との関わり方」	共育プラザ之江	-16-

環境・自然・緑などを守り育てる活動

「見えないところでみんなのために 何かをしている人がいる」	葛西臨海公園	-17-
「ボランティア活動を通して」	葛西臨海公園	-18-

その他の活動

「切手整理のボランティアをしてみて」	ボランティアセンター	-19-
「初めてのボランティアを終えて」	布絵の会 江戸川光照苑	-19-
「小さいところからはじまる 素敵な関係」	江戸川アリスの会	-20-

江戸川区内小学校すくすくスクール

「母校でのボランティアを行ってみて」	宇喜田小学校	-21-
「夏の思い出」	平井南小学校	-21-
「夏のボランティア体験」	大杉東小学校 南篠崎小学校 共育プラザ之江	-22-
「2日間、子供達とふれあって。」	篠崎小学校	-23-

「ウエル江戸川でのボランティア体験を終えて」
(ウエル江戸川)

Kさん
(高校3年 男性)

私にとって老人ホームは初めて訪れる場所だったので、少し緊張と不安がありましたが、スタッフの方々のおかげで充実した時間を過ごすことができました。

仕事はおもにデイサービスを利用しているお年寄りと話しをしたり、一緒に体操したりしながらコミュニケーションをとることでした。またゲームのセッティングや事務的な仕事もしました。特に印象的だったのが、お年寄りとの関係が、「親と子」のような関係だったことです。

お年寄りはスタッフを信頼し、スタッフは笑顔で常に周りを見て助けの手をさしのべている、アットホームでゆっくり時間が流れているような雰囲気がありました。4日間でスタッフの方と同じように動くことはできませんでしたが、貴重な時間を過ごせて、とても勉強になりました。お年寄りの元気な姿を見て、私も頑張ろうと思いました。

まだまだ知らないことがたくさんあるので、これからもいろいろなことを体験し、今後の進路の参考にしたいと思います。

「無題」

(介護老人保健施設めぐみ)
(ボランティアセンター)

Aさん
(高校3年 男性)

始めに、なぜ私がボランティアを受けたのかというと、まず、切手は、あの使用済みの切手は、使われたあとはどうなってしまうのか、という疑問があったため、このボランティアを受けたのだ。実際に受けてみて使い終わった切手というのは、切手収集が趣味の人などに渡し、破損したものは、モザイクアート等に使われるということを知った。

そして、老人ホームに関しては、自分の祖父が老人ホームに入居しているので、介護している人に立って介護とはどれだけ大変かを感じたかったのである。実際に受けてみて、最も苦労したことは、入居者との会話だ。初対面ということで、何を話せばよいかかわからず、話しが行き詰まることなどもあったが、問題はなく触れ合えた。

もし、機会があれば、もう一度ボランティアをしてみたいと思う。



「楽しかったボランティア」
(なぎさ和楽苑)

Kさん
(小学3年 女子)

なぎさ和楽苑で歌ったりおどったりして楽しかったです。車いすをおすのが少しむずかしかったけど、またボランティアに行きたいです。

「はじめはきんちょうしたボランティア体験」
(江戸川さくらの杜)

Kさん
(小学4年 男子)

ぼーる遊びをしたりコーヒーをくばったりしました。ボランティアをする1日前にはじめてだからだいじょうぶかなときんちょうしていました。ボランティアがはじめて1時間ぐらいするとなれてきんちょうがなくなりました。また行きたいです。

「なぎさ和楽苑で働いてみて」
(なぎさ和楽苑)

Sさん
(小学5年 女子)

1日目は、「どんな仕事するんだろう？」と不安とドキドキがいっぱいでした。でも、行ってみると、おじいちゃん、おばあちゃん達や職員さん達の笑顔があふれていて、とても楽しい所でした。1日目は、遠藤さんが優しく、ていねいにお仕事の内容などを教えてくれました。1日目は手伝いでしたが、2日目からは、おじいちゃん、おばあちゃん達と接する事もありました。みんなゆかいで私も元気をもらいました。花だんのトマトのしゅうかくや水やりも楽しかったです。ゲームや歌などにもみんな元気にやっていました。おじいちゃん、おばあちゃん達や職員のみなさんにも、「また来てね。」と言われました。「また来年も行きたいな。」と思う場所でした。特に楽しく、私も笑っていた所は、「くつろぎの間」という所です。

また来年も行きたいなあ～と思います！！

楽しかったです！！



「初めてボランティア活動に参加して」
(介護老人保健施設めぐみ)

Uさん
(社会人 女性)

今回初めてボランティアに参加させて頂きました。

今まで全く訪れたことがなかった老人介護施設で、入所者や職員の方々とお話したり、体操をしたり、施設の様子も見学することができて、大変有意義な体験でした。

今後高齢化が進む中、社会福祉事業を発展させるため人まかせではなく、自身でも参加することが大切だと思うので、実際の介護事業も少しずつ勉強しながら、またボランティアなどで施設を訪れたいと考えています。

一日だけの体験でしたが、初めの一步を踏み出すための貴重な機会となりました。普段接することの少ないお年寄りの方々と触れ合いも楽しかったです。自分の倍以上生きてこられた方々の豊かな人生経験を伺い、学ぶ事がたくさんありました。

「ボランティア体験」
(老人保健施設ヴィット)

Tさん
(高校3年 男性)

初めてこの施設に入ったとき、すごく緊張しました。最初教わったのは髪の毛をとかすことでした。なんか楽しかったです。次にやったのはベッドのほこりをとることと汚れているシーツを換えることでした。あと給食を配ること。給食を配るときその人の名前を言わないとだれのご飯なのかわからないので、配る前その人の名前を言ってその人が返事したら、自分が持っているご飯をその人のテーブルの上に置く。給食を配ったあと高齢者が食べ終わるのを待つ。そして食べ終わったら、その人のご飯を片づける、難しくないけど、丁寧にやる作業です。ボランティアとしているいろいろ学びました。良い思い出も作れたし、仕事の大変さも実感しました。ボランティアをやってよかったと思いました。



「新しい物の見方」と「人とのつながり」 Mさん
(えがおの家) (社会人 男性)
(篠崎図書館)

自分は社会人になって25年になります。どっぷりと現在の仕事に浸かっています。物事に対する見方も、恐らくある方向からしか見ていないのではないかと考えるようになりました。自分の仕事とは全く違う仕事を少しでも経験することで、今までとは違った「新しい物の見方」ができるのではないだろうか。そしてそのことが、これからの自分の仕事に生かせるのではないだろうか。そんなことを期待して、ボランティア体験に申し込みました。申し込みをしたときは、図書館での体験のみと考えていましたが、ボランティアセンターの方に勧められたこともあり、障がい者施設での体験も申し込むことにしました。

障がい者施設では「えがおの家」で体験をさせていただきました。利用者さんとの接し方は、自分の仕事と共通した部分もあり、自分的にはすんなりと入り込めた感じがしました。利用者さんの気持ちを察しながらも、自立のために時には毅然とした態度で接すること。でも、あくまでも穏やかに接すること。人との接し方の基本を改めて感じることができました。しかし、特に感じたことは、施設で働く人たちの活気とチームワークの良さでした。自分より若い人たちが、自信を持って生き生きと仕事をしています。利用者さんの安全のために、絶えず無線で連絡を取り合っており、利用者さんを見守っています。「良い職場だなあ。」社会人の自分だから感じられたのかもしれませんが、これが「えがおの家」での一番の印象でした。

もう一か所は、篠崎図書館で体験させていただきました。配架や書架の整理、リサイクル本の作業や予約された本の検索など、すべてが初めての経験でした。作業の仕方を丁寧に教えていただき、経験をしていくうちに少しずつ上手くできるようになってきた感じがしました。特に気をつけたことは、利用者さんとの接し方です。利用者さんの邪魔をしないように、配架や書架の整理をしなければなりません。尋ねられた時の対応なども、失礼のないようにしなければなりません。人に対する気遣いを学んだ気がします。そして、やっぱりこの職場も「雰囲気がいいなあ。」と感じました。打合せの時の様子をうかがうことができたのですが、はっきりとお互いの意見を話して、みんなで共通理解したうえで物事に対応していました。

二つのボランティア体験を通して本当にありがたかったことは、その職場の方々にとっても親切にいただいたことです。「えがおの家」では、11月のお祭りにも誘っていただきました。人とのつながりがとても楽しかったし、ありがたいと思いました。「新しい物の見方」はもちろんのこと、「人とのつながり」をととても感じることができました。

「保育園のボランティアを体験して」
(西小松川保育園)

Aさん
(高校1年 女性)

私が、保育園を選んだ理由は、小さい子が好きなのと、自分が小さい頃、保育園の先生にあこがれていたからです。

最初は緊張していましたが、先生方が優しく接して下さり、だんだんと緊張もほぐれていきました。

活動中には、保育園の子たちが「先生」と呼んでくれた時はとても嬉しかったです。自分が保育園のときのことを振り返る場面もあり、少しなつかしくなりました。「あの時私は、あんな風に先生に迷惑をかけてしまったんだ」と今になって分かり、反省する部分もありました。

また、ケンカが起こった時、どういう対応をしたら良いのか、少し戸まどいながらも、先生方の対応のし方を見て学べたので良かったです。

この夏のボランティアを体験して、仕事の楽しさや大変さを知ることができて良かったと思います。

今日学んだことを忘れずに、日常生活の中でもいかしていけたらなと思います。

「ボランティア」

(新堀おひさま保育園)

Rさん

(高校3年 女性)

先日は、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

1～5才まですべて体験をして、年齢それぞれでやるのが違い、とまどうことが多かったですが、先生たちのアドバイスもあり、大変でしたが楽しさもありました。みんな「一緒に遊ぼう」、「ここでご飯食べて」や、「R先生」と言われることは、すごく嬉しかったです。

気をつけることも多く、プールでは、常に全体に目をやり、怒るときは、怒り、ほめるときはたくさんほめる。学ぶことがたくさんありました。

今回のボランティア活動で学んだことや嬉しかったことを活かし、保育士になりたいと思います。

本当に今回は、たくさんの体験をさせていただきありがとうございました。

立派な保育士になれるようにがんばります。



「初めての保育園でのボランティア」 Sさん
(清新おひさま保育園) (高校1年 女性)

今回、初めて保育園でボランティアをさせていただきました。

最初は、「子供たちとなじめなかったらどうしよう・・・」と思っていましたが、子供たちはすんなりと受け入れてくれて、私のまわりに集まってきてくれたのが、ものすごく印象に残りました。

また、初めてボランティアをしたので、色々なことにとまどい、先生方にもたくさんご迷惑をおかけしてしまいましたが、先生方が優しく対応してくださり、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。

普段、弟以外の小さい子と触れ合うことがほとんどないので、小さい子への接し方で、今回学んだことがたくさんありました。

私はまだ、将来の職業などは、決まっていませんが、この経験を活かし、将来につなげていきたいと思っています。

たった1日でしたが、清新おひさま保育園の先生方、園児の皆さん、本当にありがとうございました。

「小学校と保育園の違い」 Sさん
(松江おひさま保育園) (短大1年 女性)
(西一之江小学校すくすくスクール)

私は松江おひさま保育園と西一之江小学校すくすくスクールのボランティアを各2日間行いました。それぞれ、とても有意義に活動出来ました。

松江おひさま保育園では、子ども達との関わり方、保育準備の大切さについて学びました。私は2日間、1歳児のクラスに入らせていただきました。先生は子ども達同士が楽しく遊べるように気持ちを代弁したり、先生自身が楽しく遊べるように気持ちを代弁したり、先生自身が楽しく遊びをすることをしていました。保育準備では、壁面作成の飾りを切ったり、下駄箱の掃除をしました。子ども達が安全に楽しく過ごせるように徹底した準備をする大切さを学びました。

すくすくスクールでは、子ども達の遊びの見守りや一緒に遊びました。保育園での大人が気持ちを代弁しながら遊ぶこととは異なり、子ども達が自ら楽しそうに遊んでいました。また、子ども達から忘れかけていた遊びを教えてもらい、私自身も、とても楽しかったです。



「将来の夢により憧れを持つことができたボランティア活動」

Iさん

(清新おひさま保育園) (高校1年 女性)
(清新第一小学校すくすくスクール)

今年で2回目の保育園のボランティアは、緊張せずにできるかなと思っていましたが、やはり初めての場所で行うので上手くやっていけるかとても不安で緊張しました。けれど、保育園の先生方は優しく接して下さり、その事によって緊張もなくなり、楽しくボランティアに参加することができました。

保育園では、2歳児のクラスを担当しました。去年は4歳児を担当していたので、2年の差をもの凄く感じました。2歳児の子供たちはどのくらい自分のことができるのかと見ていると、パンツやおむつ、服を自分で着たりと、思っていたよりもはるかに色々な事ができていました。言葉も、すこしおぼついてはいましたが、会話もできていて、自分の想像していた2歳児とかなり違っていたので、とても良い経験ができました。私は、すくなにもかもやってあげてしまいます。全部やってあげるのでは、子供たちの成長には繋がりません。

「やってあげる」ではなく「手伝える」のだなとボランティアを通して痛感しました。

保育園だけではなく、今年は小学校のすくすくスクールのボランティアも行いました。どんな事をするのか、子どもたちとは仲良くできるのか、とても不安で行くのが少しこわかったです。しかし、保育園のボランティアのようにすくすくの先生方もとても気さくで、楽しくお話しができ、小学生の子どもたちも私に興味をもって来て保育園とはまた違う体験ができました。地元の保育園、出身校でもある小学校でボランティアを行えたことは、自分にとってもプラスになるものであり、「先生」という職業により憧れをもつ事のできたボランティア活動でした。

「ボランティアの感想」

Kさん

(アスク西一之江保育園) (高校1年 女性)



はじめて保育園にボランティアとして行きました。自分はあまり子供が得意ではないので、子供と楽しくふれあえるかとても心配でしたが、子供たちの方からフレンドリーに接してくれたので安心してボランティアに取り組むことができました。自分が担当したクラスの先生が高校の先輩だった事には驚きでした。自分が保育園児だった時のイメージで、保育士は良い印象ではなかったのですが、アスク西一之江保育園の保育士の方々は本当に優しく、子供たちと接している姿は格好良いなと思いました。理解はありましたが、自分が思っていた以上の力仕事だし、精神力も使いました。自分なら絶対に投げ出してしまいたくなる仕事だと思ったので、それが楽しいと感じたり、続けて良かったと思える保育士の方々に尊敬しました。滅多に出来ない素晴らしい体験をさせていただき、ありがとうございました。

「初めてのボランティア」

Fさん

(清新おひさま保育園)

(中学1年 女性)

今年、初めてボランティアに参加しました。

私は、将来幼稚園の先生になるか、保育園の先生になりたいので、ボランティアをやりました。

私は、幼い子供を相手にして、遊ぶのが楽しかったです。あと、保育園の先生が、子供たちがお昼ねをしている時に何をしているのかがわかりました。

3日間1才の子たちを相手しました。

何回も同じ絵本を読みました。読んでいると中で、あきないのかと思ったりしました。4日目(最終日)に3才の子たちを相手しました。1才の子たちとは、またちがった感じなので、楽しかったです。

夏なのでプールの時間や水遊びの時間があり、ずずしみながら楽しめました。

また、ボランティアをやってみようと思いました。

「『教える』ということ」

Nさん

(清新おひさま保育園)

(中学3年 女性)

私は「学校の宿題」という名目でこのボランティアに参加した。

保育園は初めてで、どんな仕事をするか園児とどう接していけばよいかという不安を体験に行く前ずっと抱いていた。しかし、実際行ってみると初めて見る私でも園児達が周りに集まり、話し掛けてくれたり、遊んでくれたりしてとても嬉しく、自然と不安は消え、笑顔になれた。時に園児が喧嘩をしたり、自分では対処しきれない問題が起きた際には先生方が助けて下さり、それを乗り越えながら体験を行えた。言う事を聞いてくれない時にどのようにすれば園児が理解し、聞いてくれるかを常に考えながら行動するのは私にとってとても難しいことだった。しかし園児が自分の言った通りに行動してくれた時の嬉しさは大きなものであった。普段「生徒」という立場で過ごしている私に「先生」という立場は新鮮なものでかつ大変だった。しかし、「教える」ということの楽しさ、園児と接する楽しさを知り、よい刺激になった。「人のために尽くす」保育園のボランティアは楽しく行ってよかったなと心から思う。



「4日間のボランティアを終えて」

Nさん

(一之江保育園)

(アスク西一之江保育園) (高校1年 女性)

私は将来に役立てようと、保育園へボランティアに行きました。

中学生の時、職場体験という形で幼稚園へ行ったことがありました。やはり、保育園と幼稚園ではいろいろなものが違いすぎると感じました。例えば、お昼寝、おやつの有無はもちろん、子供たちの年齢の幅、先生たちの園児に対する接し方までが違いました。正直おどろいた所もありました。

「これが今の保育園教育なのか・・・」と思わされるところもありました。が、私自身良い経験ができたと思います。

妹より年齢の低い子供と遊んだり、ただ遊ぶだけでなく、普段体験することのできない体験ができたと思います。久しぶりにおむつを交換したり、あ～んしてあげたりと。とても充実した経験ができました。

改めて、保母さん(?)を志す良い機会となりました。

保育園で出会った子どもたちのことは忘れないと思います。

「保育園ボランティアを通して」

Oさん

(逆井保育園)

(高校1年 女性)

私は逆井保育園の5歳児クラスのボランティア体験をしました。

5歳児というのは、始めただやんちゃでうるさい年頃なのかなと思っていました。ですが、実際にクラスの中に入って1日ボランティアをしてみると、想像と少し違う部分も見えてきました。もちろん想像していたようにうるさくて、やんちゃではありましたが、それだけではなく決められた仕事をきちんと自分たちでやったり、けんかしてしまったときもちゃんと自分達で考えて解決したり、5歳にもなるともう自分達で考えて、行動をするということが出来るんだなと思いました。なので、お仕事中は見守っていることが多かった気がします。そして、見守るというのも決して簡単なことではないんだなと思いました。子ども達が安全に過ごせるように気を配るのはとても大変でした。

ボランティアを通して命を預かるということについて深く考えることができました。



「この夏休みの経験」

Nさん

(小松川おひさま保育園) (中学2年 女性)

8月27日・28日にボランティアをさせていただきとても良い経験になりました。周りに小さい子がいないので始めはどうやって遊べばいいのかわからなかったのですが、同じ目線にたつだけでも見え方などがかわりました。一まわりくらい歳が違うので靴や洋服や椅子・机などがすごく小さくて可愛らしかったです。一番難しかったのは、「ケンカの仲裁役」です。私はしてもらってばかりなので、やり方がよくわからなくとても苦戦しました。でも、やりがいがありました。その他にも、一斉に話しかけてきてくれて聖徳太子ではないので大変でしたが、面白かったです。驚いたのが、4歳や5歳でもお昼寝があることです。すぐ寝る子はすぐ寝ますがなかなか寝つけない子にであやしたりして寝てくれると達成感がありました。また、機会があれば保育園のボランティアをやりたいです。2日間という短い間でしたがありがとうございました。

「保育園でのボランティア」

Dさん

(小松川おひさま保育園) (中学2年 女性)

今回、私がボランティアをしたきっかけは学校での課題があったからです。そこで私は、小さい子が好きなので保育園でボランティアをしようと思い、参加しました。

保育園では園児さんと遊んだり、お昼寝の準備をしたり、食べるのを手伝ってあげたり、おもちゃをふいたり意外と大変で帰りの電車では疲れて寝てしまいました。「また、保育園でボランティアをしたい。」と思いました。今回、このような体験ができてとても良かったです。なので、次回からは学校の課題ではなく、自主的にやりたいです。そして、次は、保育園も良かったのですが、違うところでも仕事してみたいと思いました。

小松川おひさま保育園の園長先生、お世話になった先生方、今回はとても良い経験をさせていただきありがとうございました。先生方のおかげで仕事の大変さを知り、そのために勉強をがんばろうと思いました。また、お手伝いをしにお邪魔させていただきたいと思います。園児さんによろしくお伝えください。



「子ども達のパワーはすごい」

Mさん

(清新おひさま保育園)

(中学3年 女性)

何もかも緊張した。最初は、子供たちが私を見てどう思うのか、内心ドキドキしながら部屋に入った。園児たちは笑顔で迎えてくれ、4、5人の男の子に囲まれたり、足を触られたり、おんぶや、抱っこをせがまれたりしたことはとても印象的だった。また、一人でずーと遊ぶ子もいれば、甘えてくる子、自己主張の強い子など、本当に一人一人個性があって、みんな違うことを改めて実感した。

そして、子供たちが「先生」と呼んでくれたり、「一緒に遊ぼう」と声をかけてくれたりしたことがとても嬉しかった。

子供達がお昼寝をしている間も、先生方に仕事があることにびっくりした。お昼寝の間はこんなことをしているのだと、とても勉強になった。子供の相手だけでなく、この様な仕事も大切なんだなと思った。自ら進んで仕事をする、次のことを考えて動く大切さを教えてもらった。

保育園が、遊びや生活の中で、日常に大切なことを自然と身に付くようになっていくことに感心した。どの子供たちも先生や保育園、お友達が大好きな様子が伝わってきた。また、先生たちの子供たちに対する接し方を見て、あまやかすだけでなく、厳しくすることも大切なんだなと思った。子供の安全を優先し、一人一人にどう対応すればよいか、どうすればその子が喜ぶかなど考えながら仕事をするの大変さを知った。そして子供の笑顔には、大きな力があると感じた。それは、体は疲れていても、楽しかったからだ。

3歳児はパワフルで元気に遊ぶ子もいれば、ちょっと甘えん坊の子、まだまだ目が離せない子など1番個人差のでる年齢だと思った。手伝ってしまうことは簡単だけど、子供たちの成長の妨げにもなる。保育士は子どもの手伝いをするのではなく、子供を育てるとするのが仕事なのだということを発見することができた。そして自分1人で出来たときに褒めることは、子どもたちを成長させることにつながると感じた。

今回のボランティアは疲れたが、とても充実した体験をさせていただきました。先生方、子供達にとっても感謝しています。ありがとうございました。



「小岩図書館の皆さまへ」

(小岩図書館)

Kさん

(高校1年 男性)

僕は7月22～23日の2日間、小岩図書館でボランティアをさせて頂きました。1日目では、全く右も左も分からず、仕事の仕方も分からない僕に、一から丁寧に仕事の仕方を教えて下さいました。

図書館というもの自体を利用したことは何度かありましたが、図書館の中で働くということは初めてだったので、緊張とドキドキとワクワク感でとてもボランティアするのが楽しみでした。2日目では、わざわざ最後に本の紹介のカードを書かせてもらったことは、とてもうれしいことでした。

今回の経験で、図書館での仕事は大変だけど、やりがいのある仕事だと思いました。また、ボランティアというもの自体にも好感をもつことができました。改めて、2日間本当にいい経験をしたと自分自身が思える体験でした。

「図書館での仕事」

(篠崎図書館)

Hさん

(高校1年 女性)

今回初めてボランティア体験に参加しました。活動場所は普段から利用している地元の図書館で、知っている図書館スタッフの方もいらっしゃるなので、かなり緊張しました。私は学校で図書委員をやっているので配架や書架整理は簡単にできると思っていたけれど、図書館の広さや本の量、種類が学校と全く違い、大変な作業であることを実感しました。また、立ったりしゃがんだりを繰り返すので結構体力が必要であるということも分かりました。

リサイクル本の修理はやったことのない作業だったので、とても面白かったです。図書館スタッフの方たちはとても優しく、分からないことにも丁寧に対応してくださって、「この人たちのおかげで図書館が成り立っているのだなぁ」と心から思いました。静かな図書館の裏ではスタッフが忙しく働いているというのが今回の体験を通しての印象です。今回は学校の課題ということでボランティア体験に参加しましたが、このような貴重な体験が地元でできるなら、来年もまた参加しようと深く思いました。



「ボランティアをやってみて」
(中央図書館)

Aさん
(高校1年 男性)

僕は家から近い中央図書館でボランティアをしました。

図書館の中は、冷房のおかげで快適でした。

1日目は、僕たちに館内を案内してくださいました。

その中で一番おどろいたのは、録音室があったことでした。他にも、字を大きくした本や大きくする機械があって、障がい者のことも考えていて、びっくりしました。

このような部屋は、どこの図書館へ行ってもないと思います。

僕たちの仕事のほとんどが配架でした。

ずっとやっているうちに、少しずつ疲れていくのがわかりました。しかし、やっていくうちに、場所が分かってきて、2日目からは、本の分類が書いてある資料を見なくてもわかるようになったのですが、一回間違えてしまったときには、スタッフの方に指摘してもらって、すごく助かりました。

他にもいろいろ教えてもらったのですが、中でも一番楽しかったのは、本を本棚からとっていき予約本の引き抜きでした。

今回の3日間は、今までとは違う目線から仕事のできたので、楽しくてすごく勉強になりました。

「図書館でボランティアをして」
(中央図書館)

Mさん
(高校1年 男性)

僕は、夏のボランティア体験で図書館でボランティアをしました。

きっかけは、自主的ではありませんが3日間やり通すことができました。

図書館でのボランティアは、思っていたよりも体を動かすもので初日は与えられたものをするだけでもハードでした。3日目には、それにもなれた与えられたもの以外にも仕事をすることができました。

この体験を通して学んだことは、自主的に仕事を見つけて動くことや続けていくことの大切さです。

他にも普段じゃ見れない所なども見せていただきとても貴重な体験をさせていただきました。



「小松川図書館のボランティアにて」
(小松川図書館)

Tさん
(高校1年 男性)

ぼくは、ボランティア先として、小松川図書館に行きました。そして、ぼくは、「あ、ここに来てよかったな。」と思いました。なぜかと言うと、まず環境がすごく良かったです。すごく落ち着いた雰囲気、集中して仕事が出来ました。図書館だから静かで落ち着いた雰囲気は当たり前だけど、改めてさすが図書館だなと思いました。(笑)そして、何よりも職員さんの方の優しさです。みなさんとても優しくかったです。最初お昼ごはんを職員さん方と食べるとき、何を話せばいいかわからなくて、緊張したけど、自然と話が盛り上がって楽しかったです。しかも、テーブルに置いてあったおかしも分けてくださったり、ジュースまでおごってくれました！！それらへの感謝の気持ちは今でも忘れません。仕事も楽しく出来たし、色々な人たちと交流できて本当に良かったです。今度また行くひまがあったら行きます。本当にありがとうございました。

「ボランティアを終えて...」
(篠崎図書館)

Kさん
(高校1年 女性)

最初は、私は「図書館なら簡単そう」と思って篠崎図書館を選びました。でも、実際働いてみると予想以上に大変でした。本を元にあった場所に戻すという簡単なことでも、ちゃんと元の場所に戻さないといけなくて、かつ、名前順ということもあり大変でした。でも、だんだん場所を覚えてきて、スムーズにできたときは嬉しかったです。

2回目に行ったときは、本を元の場所に戻すことと、図書館の古い本や汚れている本をリサイクルの本にする仕事をしました。楽しかったです

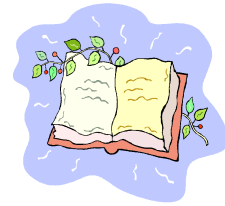
ボランティアとして2日間やったけど、仕事として毎日働くのは本当に大変なんだなって思いました。やって良かったです。



「本を大切にすることは人へのおもいやり」 Sさん
(小岩図書館) (社会人 女性)

図書館で手に取る一冊の本、ページをめくるとさまざまな世界へいくことができます。

分類のラベルとバーコードが貼られ、透明なフィルムで補強され、順序よく棚に並んでいる。日常の便利さの中には“できるだけ多くの方が本とよい出会いができるように・・・。”と大切に思う気持ちが込められている。作者や編集者以外にも本に携わっているみなさんの心にふれることができ、とても嬉しい体験でした。貴重な時間にご指導いただき、ありがとうございました。



「ボランティアを通して感じたこと」 Iさん
(西葛西図書館) (高校1年 男性)

西葛西図書館のボランティアでは、普段から利用している図書館の業務の裏側が見られた。

図書館での仕事は私が思っていたよりも、「人の手」で支えられており、修繕された本から温かみを感じるようになった。また、図書館に関するシステムにおいてコンピュータの担う働きは大きく、テクノロジーの偉大さをも感じた。

図書館の職員の方々には想像していたよりもずっと優しく、丁寧にやり方を教えていただいた。人との接し方でどんなことが大切なのか掴めたと思う。

今回のボランティア体験は得られたことが多く、とても良い経験になった。



「夏のボランティア体験を終えて」
(共育プラザ之江)

Mさん
(高校1年 女性)

「夏のボランティア体験」をやって、とてもいい経験になりました。
私は今までにも美化ボランティアや老人ホーム訪問などのボランティアをしたことがありましたが、今回やったボランティアはいつもと違う感じのボランティアで、とても楽しかったです。
掃除などをやって疲れましたが、終わるとすっきりした気分になりました。
やっぱりボランティアはいいことだと改めて思いました。
また機会があればやりたいです。

「人と人との関わり方」
(共育プラザ之江)

Fさん
(高校1年 男性)

私は人と、どういう風に関わっていかなければならないかをこの夏のボランティア体験で深く学びました。この活動先でまず、赤ちゃんはどう接してあげれば良いかについて学びました。
赤ちゃんはまだ言葉も話せないでいるので、遊んであげる時には、必ず赤ちゃんにはっきりと笑顔で話しかけてあげることが大切だと思いました。次に幼児についてです。幼児は赤ちゃんと大きく違い、言葉も話せて、立って歩くこともできます。なので自分から積極的に話しかけてあげるなど、幼児が楽しく遊べるようにサポートをしてあげることが一番必要なことだと私は思いました。幼児たちの喧嘩や悪いことをしてしまった時には、優しく叱ってあげることがとても大切なことになってきます。最後に活動先でお世話になった人たちとも自分から挨拶をし、丁寧な言葉遣いで対応をしなければならないことを学びました。人と関わっていくことで、一番大切だと思ったことは一人一人のことを把握し、それに適切な対応を取ることが一番大切であり、重要なことだと改めて思いました。



「見えないところでみんなのために何かをしている人がいる」

(葛西臨海公園)

Sさん

(社会人 男性)

8月6・7日の2日間、「夏のボランティア体験」として、葛西臨海公園の皆さんにお世話になりました。以前より、葛西臨海公園には、仕事やプライベートで使わせていただいたことがありました。たくさんの植物や生物が命をつむぎ合う緑地エリア。素晴らしい景観をのぞむ東京湾。マグロをはじめとする、普段は見られないいきいきとした魚たちを見ることのできる水族館など、とても素晴らしい場所であるという認識がありました。

今回、ボランティア体験として、行わせていただいた活動が、「新しい植物を植えるための草むしり」と「植物への水やり」、「公園内の清掃」でした。常時活動をされている年配のボランティアの方々とご一緒させていただきましたが、予想以上の熱気の中でもいつもと同じようにお話を楽しみながら、集中して活動している姿に感動し、それに触発されながら私自身もできることを一生懸命させていただきました。活動の合間の休憩時間に少しお話をさせていただいたときに、草むしり後の場所には、新しい花を植樹されると聞きました。暑い中、このボランティアのみなさんが植樹をし、お世話をするので、きれいな花を咲かせるのだろうとその話を聞いて思いました。

私は、たった2日間という短い体験でしたが、実際に体験をしてみたことで感じたことがありました。その中で一番感じたことは、葛西臨海公園をはじめ、素敵な場所をつくるためには、「見えないところでみんなのために何かをしている人がいる」ということです。今後は、この体験で学んだことを胸にとどめ、自分の見えないところで、みんなのために頑張っている方に感謝をしながら生活をし、自分自身もみんなのためにできることを精一杯がんばっていきたいと思います。

今回は、このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。



「ボランティア活動を通して」
(葛西臨海公園)

Yさん
(高校1年 男性)

僕は今日生まれて初めて、ボランティア活動を経験しました。
場所は葛西臨海公園で自宅からとても近く、幼い頃も良く遊びに行っていました。
だからこの公園を選びました。

仕事内容は雑草取りや、花に水をあげる事や、忘れ物を交番に届ける事や郵便局に行くなど、この暑い夏にやると、とてもつかれました。でも葛西臨海公園で働いている人達は毎日このような事をしているし、僕もしっかり公園と自分のためにしっかり働こうと思いました。

活動中はとても残念なものを見てしまいました。それは、植木鉢が全部倒されて中の花が出てきていました。元にもどす時、とても悔しい気持ちと悲しい気持ちになりました。本当に自然をこわす行為は働いている人と自然のためにも辞めてほしいです。でも、ボランティアを通して、この残念な事件を目の当たりにして、生き物を大切にする気持ちやボランティアする事の大切さを学びました。本当に良い経験になったと思います。



「切手整理のボランティアをしてみた」 Mさん
(ボランティアセンター) (高校1年 女性)

紙を切るだけなので楽だと思っていましたが、ずっと切っているとだんだんと疲れてきて、終わるころには手が痛くなっていました。外国の切手やめずらしい切手、アニメの絵が描いてある切手など、種類がたくさんあって切っていて楽しかったです。

貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

「初めてのボランティアを終えて」 Nさん
(布絵の会) (高校2年 女性)
(江戸川光照苑)

今年の夏、私は初めてボランティアに挑戦し、布絵本を作る会で1回、老人ホームのデイサービスで4回のボランティアを行いました。

最初に行った布絵の会では、ボランティアという感じはあまりしませんでした。自分の得意分野を生かして楽しく布絵本を作りました。

次に行った光照苑では、デイサービスでのお年寄りの話の傾聴と、夏祭りのイベントの手伝いをしました。私はあまり話をするのが得意ではないので、傾聴は最初はうまくいきませんでした。しかし、初日と違う人が来たり、少し慣れたりしたからか、うまくいくこともあるようになっていきました。普段話すことのないお年寄りとのふれあいはいい刺激を与えてくれ、またいろいろなお年寄りと接し、その様子をたくさん見たことは、勉強になりました。夏祭りのイベントの手伝いもあったことで、楽しいボランティアにもなりました。

初めてのボランティアは、充実したいい体験でした。また時間のある時に、やることも考えてみようと思います。



「小さいところからはじまる 素敵な関係」 Sさん
(江戸川アリスの会) (社会人 男性)

8月8日、「夏のボランティア体験」として、江戸川アリスの会の皆さんにお世話になりました。江戸川区に勤務してまだ間もないということもあり、行船公園内にあるような素晴らしい和室と庭園があることを知らない中で、体験に臨ませていただきました。

今回、ボランティア体験として、行わせていただいた活動は、「短期留学生との交流」でした。当日、源心庵にいらしたのは、台湾の留学生6名でした。江戸川アリスの会の方が中心となり、「茶道の礼作」、「箏の演奏」、「南京玉すだれの演舞」の鑑賞・体験を行ってくださり、私はそのサポートをさせていただきました。私は、中国語を話すことができませんが、「積極的に日本語で話しかけてください。」というお話をいただいていたので、留学生の方と鑑賞や体験を一緒に楽しみながら、お話をさせていただきました。全員が日本に興味をもって好意的に思ってくれていることが感じられ、うれしく感じるとともに、私も日本で活躍している台湾出身の野球選手である日本ハムファイターズの「陽 岱鋼選手」が大好きであることを話すとてもうれしそうに親近感をもって話を聞いてくれました。

昨今、日本との関係が良好でない国があり、連日それに関する報道があります。そのような国々との関係を良好にしていくためには、国の代表同士がお互いの想いや考えを伝え合って決めていくことだけでなく、このように小さいことからコツコツと積み上げていくことも必要であることを感じました。また公な国の代表でない方々が相手の国の方のことを思いやりながら、日本について優しく詳しく教えていらっしゃることを素晴らしさと素敵さを改めて知りました。

今後は、この体験で学んだことを胸にとどめ、仕事の中でたくさんの人に諸外国の方々と仲良くしていくことの素晴らしさを教えながら、今の世界がもっとより優しいものになるように、自分自身もできることをがんばっていきたいと思います。今回は、このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。



「母校でのボランティアを行ってみて」 Kさん
(宇喜田小学校すくすくスクール) (高校1年 女性)

このボランティア活動に参加しようと思ったきっかけは、夏の奉仕活動を行う、という学校の課題でした。今まで、このように奉仕活動を申し込みから活動まで個人で行う、という経験をしたことがなかったため、不手際等ないか、失敗したら(?)どうしようか、など不安が大きかったです。実際、連絡の行き違いが発生してしまったため、担当して下さった方々には御迷惑をおかけしましたこと、おわび申し上げます。

活動に関しては、初めて人と接するボランティアを体験することができ、良い機会、経験になったと感じています。母校であった上、すくすくスクールさんにもお世話になったことがあったことは、活動の中で生かすことができたので安心しました。自分より小さい子どもと接する難しさを感じ、すくすくスクールでお世話になっていた時の先生方の苦勞と、活動の手際のよさを改めて感じ、先生方への感謝の気持ちが強いものになりました。反省点は、金曜日の午後4時ごろ、最後のひとふんばり、といった時間、女の子と遊んでいたところ、「先生 朝より元気なさそうだね。」と、言われ疲れが表に出ていることを指摘されたことです。機会があればまた次回も活動したくなりました。

反省点は、その次回にでも改善できれば、と思います。



「夏の思い出」 Sさん
(平井南小学校すくすくスクール) (高校1年 女性)

今回、夏のボランティアで平井南小学校に行きました。

最初、入ってすぐに男の子に「ドロボウですか?」と言われた事がとても印象的でした。低学年なのにしっかりしてるな、と思いました。その後、宿題などをやりました。初めとても緊張しましたが、皆、積極的に話しかけてきてくれたり、しよーと誘ってくれたりとても楽しかったです。

公園では皆で鬼ごっこをして、さらに仲が深まったと思いました。その後の先生がとってくれた時間で、だるまさんが転んだやジャンケン列車をしました。とても楽しく時間が過ぎるのがとても早く感じました。もう少し時間が欲しかったなと思いました。

私は将来、子供に関係する仕事につきたいので、今回のボランティアはとても貴重な体験でした。

またボランティアができればすくすくスクールに行きたいです。

「夏のボランティア体験」

Mさん

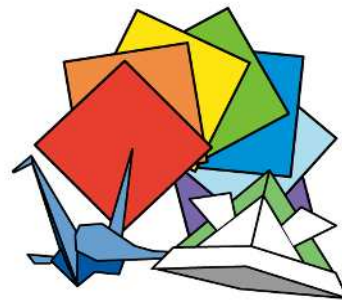
(大杉東小学校すくすくスクール) (高校1年 男性)
(南篠崎小学校すくすくスクール)
(共育プラザ之江)

大杉東小学校は友だちの母校で、先生とかみんな知らない人だし、ぜんぜん知らない所だから、少し緊張しました。けど子どもたちも優しくて、折り紙の作ったやついっぱいくれてよかったです。

南小は母校だから懐かしくて、なんだか安心できるし、友達の妹がいたりして、気が軽かったです。

友達の妹がすごいしっかりした子で、その友達もしっかりしてるから似てるなって思った。子ども達に受け入れてもらえるかなって思ったけど、たくさん遊んでくれて楽しかったです。共育プラザが、最初1週間前までに電話するの忘れてて、1週間前すぎてから、電話しなきゃいけなかったの思い出して、申し込みがされていないと思って、そしたら共育プラザから電話があってその日はなしになって、後日もう一度約束ができたので、よかったです。

屋上で雑草ぬいたり砂場の整備したり暑くて大変だったです。本のリスト見て、あるか確認するのも、なかなか見つからなくて、でも、水やりとか楽しかったです。すくすくも共育プラザも、意外と大変で、実際にやってみないとわからなかったの、いい体験ができたなと思います。



「2日間、子供達とふれあって。」
(篠崎小学校すくすくスクール)

Fさん
(高校3年 女性)

私は、今回初めて「夏のボランティア体験」をさせていただきました。
人とのふれあいを目的として、すくすくスクールでは、多くの人とふれあうことができ、また、体を動かすことができると思い志望しました。

私は、あまり子供が得意ではなくボランティアをさせていただく前は、不安でした。ですが、すくすくスクールに行き、実際に子供達とふれあってみると、子供達はとてもwelcomeで、元気がよく、びっくりしました。高校生になった私を含めた人間は、子供達のように初めて会った人に話しかけたり、なにかを頼んだり、すぐにそんなことをするような人間ではなくなってしまっていて、それができる子供達は、すごく素直で素敵だと思いました。

子供達には、「妖怪ウォッチ書いて～！」と頼まれ、絵は得意な方だったので書いてあげるとみんなすごく笑顔で嬉しかったです。まるでドラえもんのジャイアンのような子供、恥かしがり屋さんな子供、イタズラ好きの子供もいれば、絵がすごく上手な子供と、色々な子供達がいて、本当にすくすくスクールで子供達とふれあうことのできた2日間は、思い出となり、子供達から学ぶものも沢山ありました。

ここに書ききれないくらいの思いがありますが、本当にボランティアをして良かったです。夢と希望にあふれている未来の大人達。将来が楽しみな子供達ばかりでした。また、やりたいです。ありがとうございました。

